

I. 文学部

文学部の履修について

卒業に必要な
最低単位数

本学に4年（8学期）以上在学し、所定の単位を修得すれば卒業と認定し、文学部にあつては、学士（文学）の学位が授与される。ただし、1～4年の各年次に1学期以上在学することが必要である。卒業に要する単位数は下表のとおりである。

授業科目	日本文・中国文・外国語文化・史・哲学科	備考
教養総合科目	36 単位以上	
専門教育科目	64 単位以上	注1)
合計	124 単位以上	

注1) 卒業論文8単位を含む（史学科・哲学科は全員、日本文学科・中国文学科・外国語文化学科は卒業論文履修者）。

進級条件

進級の時期は各年度の始めとする。進級するには、各年次において1学期以上在学することが必要である。また、2年次から3年次への進級には2年次終了までに3学期以上在学し、卒業に要する単位で次の条件を満たしていなければならない。

【日本文学科】

教養総合基礎科目群の必修外国語4単位、スポーツ・身体文化IA・IBの2単位、学科基礎科目4科目8単位を含む34単位以上を修得すること。

【中国文学科】

教養総合基礎科目群の必修外国語（中国語）4単位、1年次に開講する必修の学科基幹科目3科目5単位を含む34単位以上を修得すること。

【外国語文化・史・哲学科】

教養総合基礎科目群の必修外国語4単位、スポーツ・身体文化IA・IBの2単位を含む34単位以上を修得すること。

履修規程

専門教育科目64単位以上、教養総合科目36単位以上を各学科の履修規程に基づいて履修し、合計124単位以上を修得すること。また、受講キャンパスは、各学科の履修規程に基づく。

なお、履修規程の変更がある場合は、掲示する。

年次別履修単位
制限（CAP制）

年次別に登録できる単位数が制限されているので、年次別の枠を超えて履修することはできない。（P4参照）

1. 日 本 文 学 科

日本文学科には、日本文学専攻・日本語学専攻・伝承文学専攻があり、専攻によって専門教育科目の履修方法が異なる。いずれかの専攻を選択し、履修規程に基づいて単位を修得する。また、各専攻に属しながら、日本語教育・書道・表現文化の科目も適宜履修できる。

受講キャンパス

【1 年 次】

渋谷キャンパスでの受講が主になるが、週 1 回横浜たまプラーザキャンパスでの受講がある。

【2・3・4 年次】

渋谷キャンパスでの受講が主になるが、それ以外は履修規程に従い、横浜たまプラーザキャンパスでも受講できる。

日本文学専攻

古代から近現代にいたる各時代の主要な作品・作家に触れて、全体の流れをつかむとともに、個々の作品について集中的に研究することにより、日本人の心情や生活の意義・特質を明らかにすることを目標とする。

日本語学専攻

日本語の、古代から現代にわたる発音・文字・表記・文法・語彙・方言などについて多様な形態で伝わる文献資料はもとより各種メディアや現代日本語の動態に至るまで広く対象として研究する。さらに、進路に応じて日本語教育に必要な知識を学び、言語情報の処理能力を養い、日本語の有する法則的事実を科学的に明らかにすることを目標とする。

伝承文学専攻

日本文化の総合的・体系的理解には、文字表現に加え、言葉や行為、感覚、さらに造形等によって受け継がれてきた伝承文化への認識が必要となる。具体的には、昔話や伝説、儀礼、芸能、衣食住など多岐にわたる文化で、これらの実態や特質について民俗学や口承文芸学、民俗芸能学等の視点から学修、究明することを目標とする。

表現文化

プログラム

①散文表現、②韻文表現、③文字表現、④身体表現、⑤現代表現という五つの表現方法を主たる学修対象として、表現の可能性を追究してゆく。表現のありようを実践的に学ぶことによって、表現や創作などに携わることのできる人材の育成を目指す。上記の三専攻に属しつつ、必要に応じてこのプログラムの科目を履修する。

カリキュラムの構成と履修方法

- 1) 専門教育科目の専攻が分かれるのは 2 年次からであるが、専攻の選択は 1 年次後期に行い、2 年次前期の履修登録の際に登録を行う。原則として、それ以降の専攻の変更は認めない。ただし、3 年次前期履修登録時において変更の希望があった場合には、教務委員が検討する。
- 2) 専攻外演習である「日本語教育学演習Ⅰ」「日本語教育学演習Ⅱ」「言語学演習」「表現文化演習Ⅰ」「表現文化演習Ⅱ」「表現文化演習Ⅲ」を修得した場合、どの専攻であるに関わらず、その修得単位は専攻演習科目の単位として認定される。
- 3) 卒業論文は選択制である。3 年次の履修登録時に、履修・非履修の届け出を行う。なお、3 年次後期履修登録時に、教務委員・指導教員の下承を得ることにより、履修・非履修の変更ができる。それ以降の変更は、原則として認めない。(P31 参照)
- 4) 4 年次に**選択したコース**の演習を 1 科目以上履修しなければならない。ただし、上記 2) に従って、記されたいずれかの科目で代替することができる。

		卒業論文履修者	卒業論文非履修者	備 考	
専門教育科目	学科基幹科目	学科基礎科目	14 単位	14 単位	必修
		専攻基礎科目	12 単位	12 単位	選択必修
		専門基礎科目			修得単位は選択Ⅰ～Ⅳ類へ算入
		専攻演習科目	12 単位	12 単位	超過単位は選択Ⅰ～Ⅳ類へ算入
		専攻外演習科目			専攻演習に振り替えることができ、超過単位は選択Ⅰ～Ⅳ類へ算入
	展開科目	選択Ⅰ～Ⅳ類	18 単位	26 単位	卒業論文非履修者は、展開科目の各専攻科目群から 8 単位修得すること。
関連科目					
卒業論文		8 単位			

	授業科目	開講	単位	開講学年				備考
				1	2	3	4	
学 科 基 礎 科 目	学科基礎科目	日本文学概説Ⅰ	前期	2	○			7科目14単位必修
		日本文学概説Ⅱ	後期	2	○			
		日本語学概説Ⅰ	前期	2	○			
		日本語学概説Ⅱ	後期	2	○			
		伝承文学概説Ⅰ	前期	2	○			
		伝承文学概説Ⅱ	後期	2	○			
		漢文学概説	後期	2	○			
	専攻基礎科目	日本文学講読Ⅰ	前期	2		○		「各講読Ⅰ・Ⅱ」の組み合わせを 3セット12単位以上。 その中に必ず自分の専攻の講読Ⅰ・Ⅱを 含むこと
		日本文学講読Ⅱ	後期	2		○		
		日本語学講読Ⅰ	前期	2		○		
		日本語学講読Ⅱ	後期	2		○		
		伝承文学講読Ⅰ	前期	2		○		
		伝承文学講読Ⅱ	後期	2		○		
		漢文学講読Ⅰ	前期	2		○		
	漢文学講読Ⅱ	後期	2		○			
	専門基礎科目	基礎日本古典文学	通年	4	○			I類 II類 III類 IV類 修得単位は選択Ⅰ～Ⅳ類へ算入 単位は関連科目へ算入
		基礎日本古典語	通年	4	○			
		伝承文学基礎研究法	通年	4		○		
		書道	通年	4	○			
		影印講読	前期	2	○			
		基礎漢文学	前期	2	○			

注) 専攻基礎科目を12単位以上修得した場合は、展開科目として卒業要件単位に算入される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				備考
				1	2	3	4	
学 科 基 礎 科 目	専攻演習科目	日本文学演習Ⅰ	通年	4		○		専攻の「演習」2科目8単位を 含み3科目12単位以上
		日本文学演習Ⅱ	通年	4			○	
		日本文学演習Ⅲ	通年	4			○	
		日本語学演習Ⅰ	通年	4		○		
		日本語学演習Ⅱ	通年	4			○	
		日本語学演習Ⅲ	通年	4			○	
		伝承文学演習Ⅰ	通年	4		○		
		伝承文学演習Ⅱ	通年	4			○	
		伝承文学演習Ⅲ	通年	4			○	
		伝承文学演習Ⅳ	通年	4			○	
	専攻外演習科目	日本語教育学演習Ⅰ	通年	4			○	修得単位は、専攻演習科目の 卒業要件単位分に振り替える ことができる
		日本語教育学演習Ⅱ	通年	4			○	
		言語学演習	通年	4			○	
		表現文化演習Ⅰ	通年	4		○		
		表現文化演習Ⅱ	通年	4			○	
表現文化演習Ⅲ	通年	4			○			

注) 自分の属する専攻の演習科目、及び専攻外演習科目をあわせて12単位以上修得した場合、超過分は展開科目として卒業要件単位に算入される。

	授業科目	開講	単位	開講学				備考	
				1	2	3	4		
	授業科目	開講	単位	開講学				備考	
				1	2	3	4		
展 開 科 目	日本文学 科目群 選択Ⅰ類	日本文学史Ⅰ	前後	2	○			(日本) (日本) (東アジア) (東アジア)	
		日本文学史Ⅱ	前後	2	○				
		日本時代文学史Ⅰ	前後	2			○		
		日本時代文学史Ⅱ	前後	2			○		
		芸能文化論ⅠA	前期	2			○		
		芸能文化論ⅠB	後期	2			○		
		芸能文化論ⅡA	前期	2			○		
		芸能文化論ⅡB	後期	2			○		
		日本古典文学研究ⅠA	前期	2	○				
		日本古典文学研究ⅠB	後期	2	○				
		日本古典文学研究ⅡA	前期	2	○				
		日本古典文学研究ⅡB	後期	2	○				
		日本古典文学研究ⅢA	前期	2			○		
		日本古典文学研究ⅢB	後期	2			○		
		日本古典文学研究ⅣA	前期	2			○		
		日本古典文学研究ⅣB	後期	2			○		
		日本近現代文学研究ⅠA	前期	2	○				
		日本近現代文学研究ⅠB	後期	2	○				
		日本近現代文学研究ⅡA	前期	2			○		
		日本近現代文学研究ⅡB	後期	2			○		
		日本文学各論Ⅰ	前期	2			○		
		日本文学各論Ⅱ	後期	2			○		
		日本文学特殊研究ⅠA	前期	2			○		
		日本文学特殊研究ⅠB	後期	2			○		
		日本文学特殊研究ⅡA	前期	2			○		
		日本文学特殊研究ⅡB	後期	2			○		
	書誌学Ⅰ	前期	2			○			
	書誌学Ⅱ	後期	2			○			
	東アジア比較文学Ⅰ	前期	2			○			
	東アジア比較文学Ⅱ	後期	2			○			
	文献情報処理Ⅰ	前期	2			○			
	文献情報処理Ⅱ	後期	2			○			
日 本 語 学 科 目 群 選 択 Ⅱ 類	日本語史Ⅰ	前期	2	○			卒業論文履修者 (選択Ⅰ～Ⅳ類、関連科目より) 18単位以上 卒業論文非履修者 26単位以上 ただし26単位のうち 8単位は自身の専攻コース 科目群(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類) から修得のこと。		
	日本語史Ⅱ	後期	2	○					
	日本語学史Ⅰ	前期	2			○			
	日本語学史Ⅱ	後期	2			○			
	言語学概論Ⅰ	前期	2			○			
	言語学概論Ⅱ	後期	2			○			
	日本語音声学Ⅰ	前期	2			○			
	日本語音声学Ⅱ	後期	2			○			
	古代日本語文法Ⅰ	前期	2			○			
	古代日本語文法Ⅱ	後期	2			○			
	現代日本語文法Ⅰ	前期	2			○			
	現代日本語文法Ⅱ	後期	2			○			
	現代日本語研究Ⅰ	前期	2			○			
	現代日本語研究Ⅱ	後期	2			○			
	日本語学各論Ⅰ	前期	2			○			
	日本語学各論Ⅱ	後期	2			○			
言語学特殊講義Ⅰ	前期	2			○				
言語学特殊講義Ⅱ	後期	2			○				
日本語教授法Ⅰ	前期	2			○				
日本語教授法Ⅱ	後期	2			○				
日本語教育研究Ⅰ	前期	2			○				
日本語教育研究Ⅱ	後期	2			○				

次ページに続く

	授業科目	開講	単位	開講学年				備考	
				1	2	3	4		
展 開 科 目	伝承文学 科目群 選択Ⅲ類	民俗学史Ⅰ前期	2		○			卒業論文履修者 (選択Ⅰ～Ⅳ類、関連科目より) 18単位以上	
		民俗学史Ⅱ後期	2		○				
		伝承文学史Ⅰ前期	2			○			
		伝承文学史Ⅱ後期	2			○			
		日本民俗学Ⅰ前期	2			○			
		日本民俗学Ⅱ後期	2			○			
		口承文芸研究Ⅰ前期	2			○			
		口承文芸研究Ⅱ後期	2			○			
		儀礼文化論Ⅰ前期	2			○			
		儀礼文化論Ⅱ後期	2			○			
		伝承文学研究ⅠA前期	2		○				
		伝承文学研究ⅠB後期	2		○				
		伝承文学研究ⅡA前期	2		○				
		伝承文学研究ⅡB後期	2		○				
		民俗文化財論Ⅰ前後	2				○		
		民俗文化財論Ⅱ前後	2				○		
		民俗芸能論Ⅰ前後	2				○		
		民俗芸能論Ⅱ前後	2				○		
	比較口承文芸論Ⅰ前後	2				○			
	比較口承文芸論Ⅱ前後	2				○			
	伝承文学思想前後	2				○			
	民俗研究思想前後	2				○			
	現代文化論前後	2				○			
	映像文化論前後	2				○			
	比較民俗研究Ⅰ前期	2			○				
	比較民俗研究Ⅱ後期	2			○				
	表現文化・書道 関連科目群 選択Ⅳ類	日本書道史Ⅰ前期	2			○			卒業論文非履修者 26単位以上 ただし26単位のうち 8単位は自身の専攻コース 科目群(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類) から修得のこと。
		日本書道史Ⅱ後期	2			○			
		中国書道史Ⅰ前期	2			○			
		中国書道史Ⅱ後期	2			○			
		書道実習Ⅰ通年	2		○				
		書道実習Ⅱ通年	2			○			
		書道実習Ⅲ通年	2			○			
		書道実習Ⅳ通年	2				○		
		書道概論前期	2			○			
		書論研究後期	2			○			
古筆学後期		2			○				
篆書法篆刻学前期		2			○				
隸書法後期		2			○				
マスコミュニケーション論ⅠA前期		2			○				
マスコミュニケーション論ⅠB後期		2			○				
マスコミュニケーション論ⅡA前期		2			○				
マスコミュニケーション論ⅡB後期		2			○				
表現文化論ⅠA前後		2		○					
表現文化論ⅠB前後	2		○						
表現文化論ⅡA前期	2			○					
表現文化論ⅡB後期	2			○					
表現文化論ⅢA前期	2				○				
表現文化論ⅢB後期	2				○				
古典教育研究Ⅰ半期	2				○				
古典教育研究Ⅱ半期	2				○				
関連科目	古文書学演習Ⅰ前後	2			○				
	古文書学演習Ⅱ前後	2			○				
	史学情報処理Ⅰ前後	2	○						
	史学情報処理Ⅱ前後	2	○						
	中国学入門前後	2	○						
	中国文学通史前後	2		○					
中国原典研究Ⅰ前後	2				○				
演習・卒業論文通年	8				○	卒業論文履修者は必修			

○で示す開講学年以降に履修が可能である。

2. 中国文学科

古代から近現代におよぶ中国文学を学ぶ。悠久の歴史をもつ中国文学は、多彩かつ多様なジャンルがあり、魅力的な作品に富む。また、中国文学は言語をはじめとする他の歴史・思想・宗教・民俗文化などの諸領域と密接に関連し、その上に開いた精華といえる。それらのさまざまな文化事象をあわせ学び、中国文学の作品を通して読解力・鑑賞力を涵養し、その特質を明らかにすることを目標とする。

1年次においては入門期の知識を概括的に幅広く学び、今後の学修における展開の基礎を培っていく。

2年次以降においては、各自が学修の重点をどこに置くのかにより、4プログラムから1プログラムを選択する。

受講キャンパス

【1年次】

主に渋谷キャンパスで受講する。教養総合科目は、基礎科目群のうち、スポーツ・身体文化IA・IB、(教職課程受講希望者は) First Year English I・IIを週1回横浜たまプラーザキャンパスで受講し、必修外国語(中国語)は渋谷キャンパス昼開講時間帯で受講する。それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

【2・3・4年次】

主に渋谷キャンパスで受講する。教養総合科目は、基礎科目群の必修外国語(中国語)は渋谷キャンパス昼開講時間帯で受講する。それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

文学研究

プログラム

古代から近現代におよぶ中国文学を主たる対象とし、その作品の解釈・鑑賞を通して中国文学の特質を学ぶことに重点を置く。

中国語教養

プログラム

中国語を基礎から学び応用力を身につけることに重点を置く。2年次後期には、中国・天津の南開大学への Semester 留学が必修となり、生きた中国語や文化を学び中国語運用能力を高める。

人文総合

プログラム

中国文学を核としながら関連諸領域を学び、幅広い中国理解を目指すことに重点を置く。

中国民俗文化

プログラム

中国文学を核としながら東アジア世界に広がる基層文化をも視野に入れ、中国の民俗文化を学ぶ。

カリキュラムの 構成と履修方法		文学研究 プログラム		中国語教養 プログラム		人文総合 プログラム		中国民俗文化 プログラム		備考	
		卒論 履修者	卒論 非履修者	卒論 履修者	卒論 非履修者	卒論 履修者	卒論 非履修者	卒論 履修者	卒論 非履修者		
専門教育科目	学修基礎科目	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上	6単位以上	必修 注(1)	
	学科基礎科目	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	必修	
	学科 応用 科目	研究・演習 卒業論文Ⅰ	8単位以上	14単位以上	4単位以上	10単位以上	4単位以上	10単位以上	4単位以上	10単位以上	選択 必修
		卒業論文Ⅱ	6単位		6単位		6単位		6単位		
	プログラム 専修科目	導入科目	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	
		プログラム基礎科目	4単位以上	4単位以上	6単位	6単位	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上	
		プログラム応用科目	12単位以上	12単位以上	14単位以上	14単位以上	16単位以上	16単位以上	16単位以上	16単位以上	
関連科目										自由 選択	

注(1) 学修基礎科目の必修は、「中国古典読法Ⅰ」「同Ⅱ」「同Ⅲ」が必修。「中国古典読法基礎」は選択。

(2) プログラム基礎科目は、選択したプログラムの基礎Ⅰ～Ⅲから指定された単位数以上を修得する。

(3) プログラム応用科目は、選択プログラムによって指定されている特殊講義A・同Bの2科目4単位が必修である。

(4) 学科基幹科目・プログラム専修科目ともに、その修得単位数が要卒単位数を超えた場合、超過単位は専門科目の卒業要件単位に算入される。

プログラム選択 制について

プログラムが分かれるのは、2年次からである。従って、プログラムの選択は、2年次前期の履修登録の際に行う。登録後の変更は原則として認められない。
3年次において特別な事情によりプログラムを変更する場合には、教務委員との面談の後、学科で検討する。

卒業論文選択に ついて

卒業論文は選択制である。卒業論文を履修する場合は、3年次前期の履修登録時に、「卒業論文Ⅰ」を登録すること。なお、「卒業論文Ⅱ」は3年次後期に登録を行い、その登録は4年次まで1年半にわたり継続する。「卒業論文Ⅱ」の登録単位は、4年次の履修単位制限に含まれる。ただし、「卒業論文Ⅰ」を修得していないと「卒業論文Ⅱ」を登録することはできない。「卒業論文Ⅱ」は、登録確定後の変更は原則として認められない。(P31参照)

セメスター 留学について

中国語教養プログラムを選択した学生は、中国・天津市の南開大学へのセメスター留学が必修となっている。

注) 詳細は別途告知する。

	授業科目	開講	単位	開講学年				備考	
				1	2	3	4		
学科基礎科目	学科基礎	中国古典読法基礎	前後	2	○				選択
		中国古典読法Ⅰ	前後	2	○				6単位必修
		中国古典読法Ⅱ	前後	2	○				
		中国古典読法Ⅲ	前後	2		○			
	学科基礎科目	中国学入門	前後	2	○				
		中国文学概説	前後	2	○				
		中国文学通史	前後	2		○			
		中国語基礎演習 <small>前期集中</small>	前後	2	○				
		中国語演習Ⅰ	前後	1	○				
		中国語演習Ⅱ	前後	1		○			
		漢字情報処理Ⅰ	前後	2		○			
		漢字情報処理Ⅱ	前後	2			○		
		唐宋詩文演習	前後	2		○			
		詩経演習	前後	2		○			
		論語演習	前後	2		○			
		楚辞演習	前後	2			○		
	文選演習	前後	2			○			
	学科応用科目	研究・演習	中国原典研究Ⅰ	前後	2			○	・文学研究プログラム選択者は 卒業論文Ⅱ選択の場合4科目8単位以上 卒業論文Ⅱ非選択の場合7科目14単位以上 ・中国語教養・人文総合・中国民俗文化プログラム選択者は 卒業論文Ⅱ選択の場合2科目4単位以上 卒業論文Ⅱ非選択の場合5科目10単位以上
			中国原典研究Ⅱ	前後	2			○	
			中国原典研究Ⅲ	前後	2			○	
中国原典研究Ⅳ			前後	2			○		
中国原典演習Ⅰ			前後	2			○		
中国原典演習Ⅱ			前後	2			○		
中国原典演習Ⅲ			前後	2			○		
中国原典演習Ⅳ		前後	2			○			
卒業論文	卒業論文Ⅰ	前期	2			○	卒業論文Ⅰを修得済であること		
卒業論文Ⅱ	3ヶ月	6				○			
プログラム専修科目	導入科目	中国文学概説	前後	2	○			この中から4単位以上	
		中国民俗文化概説	前後	2	○				
		現代中国概説	前後	2	○				
	プログラム基礎科目	中国文学基礎Ⅰ	前後	2		○		文学研究プログラム選択者は 2科目4単位以上選択必修	
		中国文学基礎Ⅱ	前後	2		○			
		中国文学基礎Ⅲ	前後	2		○			
		中国語教養基礎Ⅰ	前後	2		○		中国語教養プログラム選択者は 3科目6単位必修	
		中国語教養基礎Ⅱ◆	前後	2		○			
		中国語教養基礎Ⅲ◆	前後	2		○			
		人文総合基礎Ⅰ	前後	2		○		人文総合プログラム選択者は 2科目4単位以上選択必修	
		人文総合基礎Ⅱ	前後	2		○			
		人文総合基礎Ⅲ	前後	2		○			
	中国民俗文化基礎Ⅰ	前後	2		○		中国民俗文化プログラム選択者は 2科目4単位以上選択必修		
	中国民俗文化基礎Ⅱ	前後	2		○				
	中国民俗文化基礎Ⅲ	前後	2		○				
	プログラム応用科目	中国文学特殊講義A	前後	2			○	文学研究プログラム選択者は 中国文学特殊講義A B 2科目4単位は必修、 あとの4科目8単位以上は、プログラム応用科目 の中から選択、計6科目12単位以上選択必修	
		中国文学特殊講義B	前後	2			○		
		中国語教養特殊講義A	前後	2			○		
		中国語教養特殊講義B	前後	2			○		
		人文総合特殊講義A	前後	2			○		
		人文総合特殊講義B	前後	2			○		
		中国民俗文化特殊講義A	前後	2			○	中国語教養プログラム選択者は 中国語教養特殊講義A B 2科目4単位は必修、 あとの5科目10単位以上は、プログラム応用科目の 中から選択、計7科目14単位以上選択必修	
		中国民俗文化特殊講義B	前後	2			○		
		中国学特殊講義Ⅰ(文学)	前後	2			○		
		中国学特殊講義Ⅱ(文学)	前後	2			○		
		中国学特殊講義Ⅲ(中国語応用)	前後	2			○		
		中国学特殊講義Ⅳ(中国語応用)*	前後	2			○		
		中国学特殊講義Ⅴ(中国語応用)*	前後	2			○		
中国学特殊講義Ⅵ(思想・宗教)		前後	2			○	人文総合プログラム選択者は 人文総合特殊講義A B 2科目4単位は必修、 あとの6科目12単位以上はプログラム応用科目の 中から選択、計8科目16単位以上選択必修		
中国学特殊講義Ⅶ(思想・宗教)		前後	2			○			
中国学特殊講義Ⅷ(歴史)		前後	2			○			
中国学特殊講義ⅧⅨ(歴史)*	前後	2			○				
中国学特殊講義Ⅹ(芸術)	前後	2			○	中国民俗文化プログラム選択者は 中国民俗文化特殊講義A B 2科目4単位は必修、 あとの6科目12単位以上はプログラム応用科目の 中から選択、計8科目16単位以上選択必修			
中国学特殊講義ⅩⅠ(芸術)*	前後	2			○				
中国学特殊講義ⅩⅡ(生活文化)	前後	2			○				
中国学特殊講義ⅩⅢ(生活文化)*	前後	2			○				
中国学特殊講義ⅩⅣ(言語文化)*	前後	2			○				

次ページに続く

	授業科目	開講	単 位	開講学年				備考
				1	2	3	4	
プログラム専修科目	プログラム応用科目	中国学特殊講義XV(言語文化)◆	前後	2			○	
		中国学特殊講義XVI(言語文化)◆	前後	2			○	
		中国学特殊講義XVII(言語文化)◆	前後	2			○	
		中国学特殊講義XVIII(言語文化)◆	前後	2			○	
		中国学特殊講義XIX(言語文化)◆	前後	2			○	
		日本文学概論I	前後	2	○			
		日本文学概論II	前後	2	○			
		日本語学概論I	前後	2	○			
		日本語学概論II	前後	2	○			
関連科目	日本文学講読I	前後	2		○			
	日本文学講読II	前後	2		○			
	日本文学史I	前後	2		○			
	日本文学史II	前後	2		○			
	日本語学講読I	前後	2		○			
	日本語学講読II	前後	2		○			
	日本語史I	前後	2		○			
	日本語史II	前後	2		○			
	伝承文学講読I	前後	2		○			
	伝承文学講読II	前後	2		○			
	書道	通年	4		○			
	書道実習I	通年	2		○			
	書道実習II	通年	2			○		
	書道実習III	通年	2			○		
	書道実習IV	通年	2			○		
	古典教育研究I	半期	2			○		
	古典教育研究II	半期	2			○		

○で示す開講学年以降に履修が可能である。

*中国学特殊講義IV、V、IX、XI、XIII、XIVは原則として隔年開講である。

◆はセメスター留学読み替え予定科目なので、留学しない学生は履修できない。

3. 外国語文化学科

外国語文化学科には、「外国語コミュニケーションコース」と「外国文化コース」があり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

受講キャンパス

【1 年 次】

教養総合科目の必修外国語、スポーツ・身体文化 IA・同 IB は、週 1 回横浜たまプラーザキャンパスで受講する。これ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できるが、専門教育科目は渋谷キャンパスでのみ開講されるため、主に渋谷キャンパスでの受講となる。

【2・3・4 年次】

2 年次の必修外国語、選択必修外国語は渋谷キャンパス昼開講時間帯で受講する。これ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できるが、専門教育科目は渋谷キャンパスでのみ開講されるため、主に渋谷キャンパスでの受講となる。

外国語コミュニケーションコース

必修外国語（英語）および選択必修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語）のコミュニケーション能力を徹底的に養い、主体的な異文化コミュニケーションを実践できる人材の育成に重点が置かれる。

外国文化コース

学際的・総合的に外国文化を学び、問題の所在を多層的に捉えて論理的に分析解決する能力を備え、国際社会において主体的に活躍できる人材の育成に重点が置かれる。

カリキュラムの構成と履修方法

- 1) 「ドイツ語演習 I・II」「フランス語演習 I・II」「中国語演習 I・II」の履修は、教養総合科目の言語科目で選択した選択必修外国語と同一の外国語とする。
- 2) 「基礎英語」は、履修を指定された者は 1 科目 1 単位を必修とする（修得単位は選択 I 類に算入）。また、「Select English I・II」の履修には選抜試験がある。
- 3) コースの選択は、2 年次の前期履修登録時に行う。なお、3 年次の前期履修登録時に、教務委員の了承を得ることにより、コースを変更することができる。それ以降の変更は、原則として認めない。
- 4) 卒業論文は選択制である。3 年次の前期履修登録時に、履修・非履修の届け出を行う。なお、3 年次の後期履修登録時に、教務委員の了承を得ることにより、履修・非履修を変更することができる。それ以降の変更は、原則として認めない。（P31 参照）

		外国語コミュニケーションコース		外国文化コース		備考		
		卒履修者	卒論非履修者	卒履修者	卒論非履修者			
専門教育科目	専門基礎科目	学科基幹科目	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	必修	
			4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	選択必修	
		外国語基礎演習	12 単位	12 単位	12 単位	12 単位	必修	
			6 単位以上	6 単位以上	4 単位以上	4 単位以上	選択必修	
		文化基礎演習			4 単位	4 単位	必修	
	展開科目	外国語演習		8 単位以上	8 単位以上	8 単位以上	8 単位以上	選択必修
				12 単位以上	12 単位以上	6 単位以上	6 単位以上	選択必修
				4 単位	4 単位	4 単位	4 単位	必修
			文化総合演習			4 単位	4 単位	必修
			選択 I 類	6 単位以上	10 単位以上	2 単位以上	6 単位以上	選択必修
		選択 II 類	2 単位以上	6 単位以上	6 単位以上	10 単位以上	選択必修	
	演習・卒業論文	8 単位		8 単位		履修者必修		

	授業科目	開講	単位	開講学年				備考	
				1	2	3	4		
専門基礎科目	外国語文化基礎演習	外国語文化基礎演習	前期	2	○			1科目2単位必修	
		ことばと文化	後期	2	○			2科目4単位選択必修	
		地域と文化	後期	2	○				
	外国語基礎演習	文化の理解と発信	後期	2	○			4科目8単位必修	
		英語演習Ⅰ	通年	2	○				
		英語演習Ⅱ	通年	2		○			
		英語文献演習Ⅰ	通年	2	○				
		英語文献演習Ⅱ	通年	2		○			
		ドイツ語演習Ⅰ	通年	2	○			教養総合科目の言語科目で選択した 選択必修外国語と同一外国語の演習 2科目4単位必修	
		ドイツ語演習Ⅱ	通年	2		○			
		フランス語演習Ⅰ	通年	2	○				
		フランス語演習Ⅱ	通年	2		○			
		中国語演習Ⅰ	通年	2	○			【外国語コミュニケーションコース】 3科目6単位以上 【外国文化コース】 2科目4単位以上	
		中国語演習Ⅱ	通年	2		○			
		英文法	通年	2		○			
		英語コミュニケーション	通年	2		○			
		ドイツ語コミュニケーション	通年	2		○		履修指定者は1科目1単位必修。指定者以外は履修不可。修得単位は選択Ⅰ類に算入。	
	フランス語コミュニケーション	通年	2		○				
	中国語コミュニケーション	通年	2		○				
	文化基礎演習	基礎英語	前後	1	○				
文化基礎演習A		前期	2		○		【外国文化コース】 2科目4単位必修		
展開科目	外国語演習	文化基礎演習B	後期	2		○			
		英語演習ⅢA	前期	2			○	4科目8単位選択必修	
		英語演習ⅢB	後期	2			○		
		ドイツ語演習ⅢA	前期	2			○		
		ドイツ語演習ⅢB	後期	2			○		
		フランス語演習ⅢA	前期	2			○	【外国語コミュニケーションコース】 4科目8単位以上 【外国文化コース】 2科目4単位以上	
		フランス語演習ⅢB	後期	2			○		
		中国語演習ⅢA	前期	2			○		
		中国語演習ⅢB	後期	2			○		
		英語演習ⅣA	前期	2				○	【外国語コミュニケーションコース】 2科目4単位以上 【外国文化コース】 1科目2単位以上
		英語演習ⅣB	後期	2				○	
		ドイツ語演習ⅣA	前期	2				○	
		ドイツ語演習ⅣB	後期	2				○	
		フランス語演習ⅣA	前期	2				○	【外国語コミュニケーションコース】 2科目4単位以上 【外国文化コース】 1科目2単位以上
	フランス語演習ⅣB	後期	2				○		
	中国語演習ⅣA	前期	2				○		
	中国語演習ⅣB	後期	2				○		
	文化総合演習	コミュニケーション演習Ⅰ(英)	前期	2			○	【外国語コミュニケーションコース】 2科目4単位以上 【外国文化コース】 1科目2単位以上	
		コミュニケーション演習Ⅱ(英)	後期	2			○		
		コミュニケーション演習Ⅰ(独)	前期	2			○		
コミュニケーション演習Ⅱ(独)		後期	2			○			
コミュニケーション演習Ⅰ(仏)		前期	2			○	2科目4単位必修		
コミュニケーション演習Ⅱ(仏)		後期	2			○			
コミュニケーション演習Ⅰ(中)		前期	2			○			
コミュニケーション演習Ⅱ(中)		後期	2			○			
外国語総合演習A	前期	2				○	2科目4単位必修		
外国語総合演習B	後期	2				○			
文化総合演習	文化総合演習A	前期	2				○	【外国文化コース】 2科目4単位必修	
	文化総合演習B	後期	2				○		

次ページに続く

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				備 考
				1	2	3	4	
展 開 科 目	選 択 I 類 (言語系)	外 国 語 学 I (英)	前期	2			○	【外国語コミュニケーションコース】 卒業論文履修者 3科目6単位以上 卒業論文非履修者 5科目10単位以上 【外国文化コース】 卒業論文履修者 1科目2単位以上 卒業論文非履修者 3科目6単位以上
		外 国 語 学 II (英)	後期	2			○	
		外 国 語 学 I (独)	前期	2			○	
		外 国 語 学 II (独)	後期	2			○	
		外 国 語 学 I (仏)	前期	2			○	
		外 国 語 学 II (仏)	後期	2			○	
		外 国 語 学 I (中)	前期	2			○	
		外 国 語 学 II (中)	後期	2			○	
		日 本 語 学 I	前期	2			○	
		日 本 語 学 II	後期	2			○	
		英 米 語 研 究 I	前期	2			○	
		英 米 語 研 究 II	後期	2			○	
		中 国 語 研 究 I	前期	2			○	
		中 国 語 研 究 II	後期	2			○	
		ビ ジ ネ ス 英 語 I	前期	2			○	
		ビ ジ ネ ス 英 語 II	後期	2			○	
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 I	前期	2			○	
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 II	後期	2			○	
		外 国 文 学 I (英)	前期	2			○	
		外 国 文 学 II (米)	後期	2			○	
	外 国 文 学 III (ヨーロッパ)	前期	2			○		
	外 国 文 学 IV (ヨーロッパ)	後期	2			○		
	外 国 文 学 V (中)	前期	2			○		
	外 国 文 学 VI (中)	後期	2			○		
	Select English I	前期	2			○	Select English I・IIは選抜試験あり	
	Select English II	後期	2			○		
選 択 II 類 (文化系)	比 較 文 化 論 I	前期	2	○			【外国語コミュニケーションコース】 卒業論文履修者 1科目2単位以上 卒業論文非履修者 3科目6単位以上 【外国文化コース】 卒業論文履修者 3科目6単位以上 卒業論文非履修者 5科目10単位以上	
	比 較 文 化 論 II	後期	2	○				
	英 米 現 代 事 情 I	前期	2	○				
	英 米 現 代 事 情 II	後期	2	○				
	ヨ ー ロ ッ パ 現 代 事 情 I	前期	2	○				
	ヨ ー ロ ッ パ 現 代 事 情 II	後期	2	○				
	中 国 現 代 事 情 I	前期	2	○				
	中 国 現 代 事 情 II	後期	2	○				
	外 国 文 学 史 I (英)	前期	2			○		
	外 国 文 学 史 II (米)	後期	2			○		
	外 国 文 学 史 III (ヨーロッパ)	前期	2			○		
	外 国 文 学 史 IV (ヨーロッパ)	後期	2			○		
	外 国 文 学 史 V (中)	前期	2			○		
	外 国 文 学 史 VI (中)	後期	2			○		
	英 米 地 域 文 化 論 I	前期	2			○		
	英 米 地 域 文 化 論 II	後期	2			○		
	ヨ ー ロ ッ パ 地 域 文 化 論 I	前期	2			○		
	ヨ ー ロ ッ パ 地 域 文 化 論 II	後期	2			○		
	中 国 地 域 文 化 論 I	前期	2			○		
	中 国 地 域 文 化 論 II	後期	2			○		
芸 術 文 化 論 I	前期	2			○			
芸 術 文 化 論 II	後期	2			○			
情 報 文 化 論 I	前期	2			○			
情 報 文 化 論 II	後期	2			○			
演 習 ・ 卒 業 論 文		通 年	8			○	【卒業論文履修者】必修	
○で示す開講学年以降に履修が可能である。								

4. 史 学 科

史学科には、日本史学専攻・東洋史学専攻・西洋史学専攻・考古学専攻・歴史地理学専攻がある。学生諸君は、いずれかの専攻を選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

フレックスコース の履修規程

フレックスコースの変更（A〈夜間主〉⇔B〈昼間主〉）はできない。

■フレックスA〈夜間主〉コース：

教養総合科目の必修科目を夜開講時間帯で、専門教育科目のうち必修科目を夜開講時間帯及び昼夜共通開講時間帯で履修するが、それ以外は開講年次などの履修規程に従い、両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

■フレックスB〈昼間主〉コース：

【1 年 次】

教養総合科目の必修科目、及び専門教育科目のうち必修科目については、夜開講時間帯での受講はできないが、それ以外は開講年次などの履修規程に従い、両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。ただし、1年次は週1回横浜たまプラーザキャンパスでの受講がある。

【2・3・4年次】

専門教育科目は渋谷キャンパスでのみ開講されるため、主に渋谷キャンパスでの受講となるが、それ以外は履修規程に従い、両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。ただし、教養総合科目の必修科目は、夜開講時間帯での受講はできない。

日本史学専攻

日本の古代から近現代に至る各時代・分野の史実とその意義を、厳密な史料批判を基礎に研究し、ひいては日本の社会構造や文化の歴史的特質を明らかにする。

東洋史学専攻

朝鮮半島から北アフリカ（イスラム時代以後）までの、古代から現代までを研究対象とし、国際的な視野に立って中国・朝鮮・東南アジア・西アジア各地の社会構造や文化の歴史的特質を明らかにする。

西洋史学専攻

古代ギリシャから現代の欧米までの、広大な地域・時代を研究対象とし、対象地域の言語（特に英語）習得を基礎として、その社会構造・文化の歴史的特質を明らかにする。

考古学専攻

考古学の理論及び研究法、遺跡・遺物の調査・分析の技術を学び、その背後にある社会構造や文化の歴史的特質を明らかにする。

歴史地理学専攻

地理学の理論や研究法、あるいは古地図の調査・分析の技術を習得し、過去の社会における環境、地域、景観などの地理的様相や、過去における空間認識の諸相を解明する。

カリキュラムの 構成と履修方法

- 1) 必修科目 …………… 28 単位（卒業論文 8 単位を含む）
「史学展開演習」「史学応用演習」については、シラバスの「講義題目・テーマ」で示される内容が異なる場合には複数受講することができる。
※ 28 単位以上修得した場合は、超過修得単位を選択科目の単位として算入することができる。
- 2) 選択必修科目 …………… 8 単位
※ 8 単位以上修得した場合は、超過修得単位を選択科目の単位として算入することができる。
- 3) 選択科目 …………… 28 単位
選択Ⅰ類 …………… 16 単位
自由選択（必修、選択必修、選択Ⅰ・Ⅱ類から） …… 12 単位
- 4) 専門教育科目の専攻を登録するのは、2年次4月からである。専攻間の移動は原則的に可能であるが、卒業論文作成上、3年次と4年次の専攻は同一が望ましい。

考古調査士資格 について

考古調査士資格とは、遺跡発掘調査にあたる調査士の資格で、全国の大学・研究機関共通の統一的な資格審査機構である「考古調査士資格認定機構」が授与します。本学は同機構に加盟しており、所定の科目を履修し単位修得した学生は、考古調査士資格（2級）を申請・取得できます。

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				考古調査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
必修科目	史学入門Ⅰ	半期	2	○					卒業論文を含め7科目28単位必修 (史学展開演習は2科目8単位)
	史学入門Ⅱ	半期	2	○					
	史学基礎演習A	前後	2	○					
	史学基礎演習B	前後	2	○					
	史学展開演習	通年	4		○	○		★Ⅱ	
	史学応用演習	通年	4				○		
	演習・卒業論文		8				○		

※28単位以上修得した場合は、超過修得単位を選択科目の単位として卒業要件単位に算入できる。

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				考古調査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
選択必修科目	日本史概論Ⅰ	前後	2	○					4科目8単位
	日本史概論Ⅱ	前後	2	○					
	東洋史概論Ⅰ	前後	2	○					
	東洋史概論Ⅱ	前後	2	○					
	西洋史概論Ⅰ	前後	2	○					
	西洋史概論Ⅱ	前後	2	○					
	考古学概論Ⅰ	前後	2	○				☆Ⅰ	
	考古学概論Ⅱ	前後	2	○					
	歴史地理概論Ⅰ	前後	2	○					
歴史地理概論Ⅱ	前後	2	○						

※8単位以上修得した場合は、超過修得単位を選択科目の単位として卒業要件単位に算入できる。

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				考古調査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
選択科目 (Ⅰ類)	日本時代史Ⅰ	前後	2	○					選択Ⅰ類科目より 16単位以上
	日本時代史Ⅱ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅲ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅳ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅴ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅵ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅶ	前後	2	○					
	日本時代史Ⅷ	前後	2	○					
	古文書学Ⅰ	前後	2		○				※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講 ※夜時間帯は隔年開講
	古文書学Ⅱ	前後	2		○				
	東洋地域史Ⅰ	前後	2	○					
	東洋地域史Ⅱ	前後	2	○					
	東洋地域史Ⅲ	前後	2	○					
	東洋地域史Ⅳ	前後	2	○					
	東洋地域史Ⅴ	前後	2	○					
	東洋地域史Ⅵ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅰ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅱ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅲ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅳ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅴ	前後	2	○					
	西洋地域史Ⅵ	前後	2	○					
	考古学各論Ⅰ	前後	2	○				☆Ⅲ	
	考古学各論Ⅱ	前後	2	○					
考古学各論Ⅲ	前後	2	○				☆Ⅲ		
考古学各論Ⅳ	前後	2	○						
考古学各論Ⅴ	前後	2	○				☆Ⅲ		
考古学各論Ⅵ	前後	2	○						

次ページに続く

	授 業 科 目	開講	単 位	開講学年				考古調 査士(注)	備 考
				1	2	3	4		
選 択 科 目 (I 類)	外 国 考 古 学 I	前後	2				○		※シラバスの内容により複数履修可 選択 I 類科目より 16単位以上
	外 国 考 古 学 II	前後	2				○		
	考 古 科 学 I	前後	2				○	☆VI	
	考 古 科 学 II	前後	2				○		
	考 古 技 術 学 I	前後	2				○	☆VI	
	考 古 技 術 学 II	前後	2				○		
	歴 史 地 理 学 各 論 I	前後	2		○				
	歴 史 地 理 学 各 論 II	前後	2		○				
	人 文 地 理 学 各 論 I	前後	2		○				
	人 文 地 理 学 各 論 II	前後	2		○				
	史 学 特 殊 講 義	前後	2			○			
	考 古 学 調 査 法	通年	4		○			★IV	
	歴 史 地 理 調 査 法	通年	4			○			
	日 本 文 化 史 I	前後	2		○				
	日 本 文 化 史 II	前後	2		○				
	史 料 論 I	前後	2				○		
	史 料 論 II	前後	2				○		
	人 文 地 理 学 I	前後	2			○			
	人 文 地 理 学 II	前後	2			○			
	自 然 地 理 学 I	前後	2			○			
	自 然 地 理 学 II	前後	2			○			
	地 誌 学 I	前後	2			○			
	地 誌 学 II	前後	2			○			
	有 職 故 実 I	前後	2				○		
	有 職 故 実 II	前後	2				○		
	歴 史 考 古 学 I	前後	2		○			☆III	
	歴 史 考 古 学 II	前後	2		○				
	神 道 考 古 学 I	前後	2		○				
	神 道 考 古 学 II	前後	2		○				
	日 本 仏 教 史 I	前後	2				○		
	日 本 仏 教 史 II	前後	2				○		
	古 文 書 学 演 習 I	前後	2				○		
古 文 書 学 演 習 II	前後	2				○			
史 学 調 査 法	通年	4			○				
文 化 財 調 査 法	通年	4			○		☆V		
文 化 人 類 学 I	前後	2				○			
文 化 人 類 学 II	前後	2				○			
史 学 総 合 研 究 I	前後	2				○			
史 学 総 合 研 究 II	前後	2				○			
史 学 情 報 処 理 I	前後	2		○					
史 学 情 報 処 理 II	前後	2		○					
選 択 科 目 (II 類)	憲 法	通年	4		○				
	国 際 法 の 基 礎	半期	2		○				
	国 際 紛 争 処 理 法	半期	2				○		
	政 治 学 概 論	半期	2				○		
	国 際 政 治 A	半期	2		○				
	国 際 政 治 B	半期	2		○				
	社 会 学 A	半期	2				○		
	社 会 学 B	半期	2				○		
	社 会 経 済 学 入 門	半期	2	○					
	経 済 学 原 論	半期	2		○				
	公 共 部 門 と 財 政	半期	2		○				
	社 会 保 障 の 基 礎	半期	2	○					
	少 子 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	半期	2				○		
	哲 学 概 論 A	半期	2			○			
	哲 学 概 論 B	半期	2			○			
	倫 理 学 A	半期	2		○				
	倫 理 学 B	半期	2		○				
	宗 教 学	通年	4	○					
日 本 美 術 史 A	半期	2		○					
日 本 美 術 史 B	半期	2		○					
日 本 民 俗 学 I	半期	2				○			
日 本 民 俗 学 II	半期	2				○			

○で示す開講学年以降に履修が可能である。

注) 考古調査士資格2級(考古調査士資格認定機構公認)取得に必要な科目 「史学展開演習」は3年考古学コース用に限定

★:必修科目 ☆:選択科目 資格取得に必要な単位: I~VIの科目群のうち3群以上の5科目以上

5. 哲 学 科

哲学科には、哲学・倫理学コースおよび美学・芸術学コースが開設されており、学生諸君は、いずれかのコースを選択し、履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。また、専門教育科目のコースが分かれるのは、2年次からである。従ってコースの選択は、2年次前期の履修登録の際に行う。3年次前期においてコースを変更する場合には、教務委員と面談を行い、特例として検討する。ただし、2年次の登録に際してコースを調整することがある。

受講キャンパス

【1 年 次】

教養総合科目の必修外国語、スポーツ・身体文化ⅠA・ⅠBは週1回横浜たまプラーザキャンパスで受講するが、それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

【2・3・4 年 次】

2年次の教養総合科目の必修外国語は渋谷キャンパス昼開講時間帯で受講するが、それ以外の科目は両キャンパスのすべての授業時間帯で受講できる。

哲学・倫理学 コース

西洋を中心として、インド・中国・日本における広い意味での哲学・倫理学を手掛かりとしながら、「哲学する」ことを学ぶ。地域的、時代的、内容的に多岐にわたるが、各思想の基本的ないし原理的内容と意味とを、演習における文献読解と講義における総合的学習によって明らかにし、思考する精神をつちかう。

美学・芸術学 コース

美学の成立と展開を歴史的に追いながら、その問題点と現代における可能性を探る。また、西洋・東洋・日本の美術史とその方法論、あるいは映画・音楽・舞踊演劇・建築などの個別的芸術学を学ぶ。美と芸術をめぐる諸問題を、さまざまな角度から考察する。

カリキュラムの 構成と履修方法

- 1) 必修科目……………28単位（卒業論文8単位を含む）
「哲学演習」「美学・芸術学演習」については、シラバスの「講義題目・テーマ」で示される内容が異なるものを2科目（8単位）以上履修し、8単位以上修得した場合は、その超過修得単位を選択Ⅱ類の単位として算入することができる。また、「哲学演習」「美学・芸術学演習」については、卒業論文の指導教員が担当する科目を履修することが望ましい。
- 2) 選択科目……………36単位
選択Ⅰ類科目から28単位以上、選択Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類科目から8単位以上を修得すること。また、半期科目のⅠ・Ⅱ、あるいはA・Bについては、連続して履修することが望ましい。

	授 業 科 目	開講	単 位	開講学年				備 考
				1	2	3	4	
必修科目	西洋哲学史ⅠA	半期	2	○				20単位 必修
	西洋哲学史ⅠB	半期	2	○				
	基礎演習Ⅰ	通年	4	○				
	基礎演習Ⅱ	通年	4		○			
	演習・卒業論文	通年	8				○	
	哲学演習	通年	4				○	
美学・芸術学演習	通年	4				○	美学・芸術学コースは2科目8単位	
選択科目Ⅰ	哲学概論A	半期	2		○			哲学・倫理学コースはこのうち16単位
	哲学概論B	半期	2		○			
	西洋哲学史ⅡA	半期	2		○			
	西洋哲学史ⅡB	半期	2		○			
	日本思想史A	半期	2		○			
	日本思想史B	半期	2		○			
	中国思想史A	半期	2		○			
	中国思想史B	半期	2		○			
	インド思想史A	半期	2			○		
	インド思想史B	半期	2			○		
	倫理学A	半期	2		○			
	倫理学B	半期	2		○			
	論理学A	半期	2		○			
	論理学B	半期	2		○			
	哲学特殊講義ⅠA	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅠB	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅡA	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅡB	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅢA	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅢB	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅣA	半期	2				○	
	哲学特殊講義ⅣB	半期	2				○	
	美学A	半期	2			○		美学・芸術学コースはこのうち16単位
	美学B	半期	2			○		
	日本美術史A	半期	2		○			
	日本美術史B	半期	2		○			
	東洋美術史A	半期	2		○			
	東洋美術史B	半期	2		○			
	西洋美術史ⅠA	半期	2		○			
	西洋美術史ⅠB	半期	2		○			
西洋美術史ⅡA	半期	2			○			
西洋美術史ⅡB	半期	2			○			
美学・芸術学特殊講義ⅠA	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅠB	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅡA	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅡB	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅢA	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅢB	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅣA	半期	2				○		
美学・芸術学特殊講義ⅣB	半期	2				○		
選択科目Ⅱ	ギリシャ語Ⅰ	通年	4		○			※「ギリシャ語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ギリシャ語Ⅱ	通年	4			○		
	ラテン語Ⅰ	通年	4		○			※「ラテン語Ⅰ」修得者のみ履修可
	ラテン語Ⅱ	通年	4			○		
	サンスクリット語Ⅰ	通年	4			○		※「サンスクリット語Ⅰ」修得者のみ履修可
	サンスクリット語Ⅱ	通年	4			○		
	応用倫理学A	半期	2				○	
	応用倫理学B	半期	2				○	
	科学哲学A	半期	2		○			
	科学哲学B	半期	2		○			
	現代哲学A	半期	2			○		
	現代哲学B	半期	2			○		
	宗教哲学A	半期	2			○		
	宗教哲学B	半期	2			○		
	言語論A	半期	2				○	
	言語論B	半期	2				○	
	比較思想A	半期	2				○	
	比較思想B	半期	2				○	
	キリスト教概論A	半期	2			○		
	キリスト教概論B	半期	2			○		
仏教概論A	半期	2			○			
仏教概論B	半期	2			○			
比較芸術学A	半期	2				○		
比較芸術学B	半期	2				○		

次ページに続く

	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				備 考
				1	2	3	4	
選 択 Ⅲ 類 科 目	宗 教 学	通年	4	○				
	心 理 学 A	半期	2			○		
	心 理 学 B	半期	2			○		
	憲 法	通年	4		○			
	国 際 法 の 基 礎	半期	2		○			
	国 際 紛 争 処 理 法	半期	2			○		
	政 治 学 概 論	半期	2			○		
	国 際 政 治 A	半期	2		○			
	国 際 政 治 B	半期	2		○			
	社 会 学 A	半期	2			○		
	社 会 学 B	半期	2			○		
	社 会 経 済 学 入 門	半期	2	○				
	経 済 原 論	半期	2		○			
	国 際 経 済	半期	2		○			
	地 域 経 済 統 合	半期	2		○			
	公 共 部 門 と 財 政	半期	2			○		
	社 会 保 障 の 基 礎	半期	2	○				
少 子 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	半期	2			○			

○で示す開講学年以降に履修が可能である。

6. 卒業論文について(文学部全学科共通)

卒業論文の意義

史学科・哲学科の学生は、大学における勉学と研究成果の総まとめとして、全員が4年次に卒業論文を提出しなければならない。その単位は卒業に要する専門教育科目必修単位中8単位と定められている。学生の自主性を重んじつつ、指導教員が個別に指導・助言に当たる。学生諸君はこの論文をまとめることによって、初めて自己の学問的な立場を確立し、将来の進路の基盤を得るのであるから、その意義の重要性を十分認識しなければならない。論文作成のあいだ終始積極的に指導教員の指導を受け、中間報告をすることが必要である。

日本文学科・中国文学科・外国語文化学科では、卒業論文は選択制である。卒論履修を選択した学生は、上記の他学科の学生同様 その意義を十分認識して、提出しなければならない。なお、その単位は卒業に必要な専門教育科目中の8単位(中国文学科は、卒業論文Ⅰ・Ⅱをあわせて8単位)と定められている。

指導教員

- 1) 論文の審査・評価にあたる教員は、各学科所属の専任教員(教授・准教授・専任講師・助教)とする。①日本文学科においては、中国文学科の専任教員の指導を受けることができる。②哲学科においては、文学部専任教員であれば学科以外の教員について指導を受けることができる。③外国語文化学科においては、文学部専任教員であれば指導を受けることができる。他の学部の教員より指導を受けることを希望する場合には、外国語文化学科の教務委員の了承を得ること。
- 2) 次に述べる第一次題目届提出前に、学科、専攻、または研究室別、あるいは教員別に卒業論文作成上のガイダンスを行うことがあるので、掲示に注意し、そうした機会には必ず出席して指導を受けること。

題目届の提出

卒業論文の題目届は、第一次(3年次)と第二次(4年次)の2回提出の必要があり、その時期は次に示すとおりである(あらかじめ教務課から「題目届用紙」「卒業論文指導カード」の交付を受け、指導教員の認印を得たうえ、指定の期限までに題目届を同課に提出しなければならない)。

題目届の未提出者は卒業論文を提出することができない。また、第一次題目届を提出しなかった者は、第二次題目届を提出する資格を失う。したがって、その時点で卒業延期が決定する。

なお、第二次題目届は、当該年度卒業見込みがない場合も、4年次に必ず提出すること。4年次に第二次題目届を提出せず、実質1年以上の卒業論文指導を受けていない留年生の9月卒業は認められない。

- ・第一次題目届(3年次)……………10月末 所定日
- ・第二次題目届(4年次)……………7月上旬 所定日

卒業論文

指導カード

第一次題目届提出前に「題目届用紙」とともに交付される「卒業論文指導カード」は、指導教員と学生用の2面に分かれている。

このカードに必要事項を記入のうえ、教員用は指導を受ける教員に提出し、学生用は各自が保持して、論文作成の期間中指導を受けるたびごとの記録とする。

学生は指導教員の指示に従って、定められた時期ごとに論文作成上の指導・助言を受け、論文提出時には、この学生用「卒業論文指導カード」を論文の表紙裏に貼付しなければならない。

論文の用紙なら びに枚数・体裁

(次ページ

図参照)

[たて書き]

- 1、万年筆等で手書きの場合(体裁A) B4判400字詰たて書用の原稿用紙(たて1行20字×20行)で50枚(中折り・裏表100ページ)以上とする。
- 2、パソコン等を使用する場合(体裁B) A4かB5の無地の用紙1ページ800字(例・32字×25行)の設定で25枚以上とする。(ホームページより書式ダウンロード可)

[よこ書き]

- 1、万年筆等で手書きの場合(体裁C) A4判400字詰よこ書き用の原稿用紙(よこ1行20字×20行)で50枚(50ページ)以上とする。
- 2、パソコン等を使用する場合(体裁D) A4無地の用紙1ページ800字(例・32字×25行)の設定で25枚以上とする。(ホームページより書式ダウンロード可)

※ただし、体裁A～Dのどれを選択するかは指導教員の指示に従うこと。
 ※いずれの場合も、用紙の余白部にページ番号を振ること。
 ※外国語文化学科において原語を使用する場合には、A4判（27行）20枚以上とする。なお、書式については指導教員の指示に従うこと。
 ※体裁A～Dの見本は教務課窓口で参照のこと。

論文の提出期日

- 1) 卒業論文の提出期限は、「卒業論文指導カード」に締切日・時間等が明記されているからこの期限を厳守して遅れることのないよう注意すること。
- 2) 締切日・時間に遅れた論文、第二次題目届と異なる題目の論文、および上記の論文の体裁・規格にはずれた論文は一切受理しない。

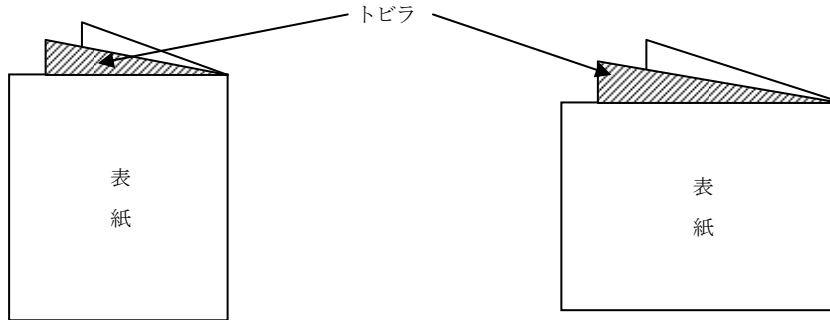
【縦書きの場合】(体裁 A・体裁 B)

―表紙― 表紙およびトビラは以下のように作成すること。

〔表紙〕

〔トビラ〕

―見本―



卒業期について：平成 28 年 3 月卒業見込みの場合は、卒業期は 124 期

【横書きの場合】(体裁 C、体裁 D)

―表紙― 表紙およびトビラは以下のように作成すること。

〔表紙〕

〔トビラ〕

―見本―

